

2021年  
12月発売

### この本で解説した恐竜と古代の生物

カメロケラス	テリジノサウルス	ドロモルニス
プロントスコルピオ	ナヌークサウルス	メガロドン
アースプロレウラ	オルニトミムス	マストドン
ディメトロドン	カルノタウルス	ケナガマンモス
プリオノスクス	シャントゥンゴサウルス	メガロケロス (オオツノジカ)
ヘレラサウルス	オウラノサウルス	ペラゴルニス
ヘテロドントサウルス	エドモントサウルス	スミロドン
スケリドサウルス	パラサウロロフス	始祖鳥 (アーケオプテリクス)
テムノドントサウルス	プテラノドン	ミクロラプトル
リードシクティス	トリケラトプス	ストルティオミムス
パロサウルス	ティタノケラトプス	ヴェロキラプトル
エビデクシプテリクス	プシッタコサウルス	プロトケラトプス
ステゴサウルス	エウオプロケファルス	ステノプテリギウス
ブラティプテリギウス	パキケファロサウルス	ランフォリンクス
プリオサウルス	アルパートネクテス	アスピドリクス
アマルガサウルス	ケツアルコアトルス	シティパティ
プテロダウストロ	ハツェゴプテリクス	ダーウィニウス
スピノサウルス	ディデルフォドン	ボレアロペルタ
ティラノサウルス	ディノスクス	エナンティオルニス
ダコタラプトル	アルゼンチノサウルス	マジュンガサウルス
バリオニクス	ティタノボア	(掲載順)

### 本書の構成

- 第1章 恐竜が現れる前の時代
- 第2章 恐竜の時代
- 第3章 恐竜が絶滅した後の時代
- 第4章 科学の力でなぞをとく

日本の化石研究の情報を新たに追加した特別編集!

日本にもティラノサウルスのなかまがいた。2019年4月、岩手県久慈市の9000年前(白亜紀後期)の地層から、ティラノサウルス類の歯の化石が発見された。見つけたのは、遠くで琥珀採掘体験にきていた地元の高橋君が、化石を上あごのいちばん前の歯の一部で発見した。この歯のサイズから、このティラノサウルスの全長は約3mほどと考えられる。これは、今までのティラノサウルスのなかまのなかで最も大きい。

鳥類の祖先といわれる恐竜についての研究技術も紹介



※紙面の内容は変更になることがあります。



# 恐竜と古代の生物図鑑

圧倒的ビジュアルで迫る驚異の世界

日本語版監修：平山 廉 (早稲田大学国際教養学部教授)

※必要事項をご記入のうえ、書店様へお申込みください。 ※お客様のご芳名・ご住所などの個人情報はこの書籍をお届けするためのものです。

申込書	<b>恐竜と古代の生物図鑑</b> 圧倒的ビジュアルで迫る驚異の世界	定価:本体5,800円(税別) ISBN978-4-591-17081-6 192ページ/ハードカバー <b>2021年12月上旬発売予定</b>	ご注文数 冊	取扱い書店名  様
	ご芳名、または学校図書館名		冊	
	ご住所 〒		冊	
	電話番号		冊	

ポプラ社 〒102-8519 東京都千代田区麹町4-2-6住友不動産麹町ファーストビル 受注専用フリーダイヤル FAX 0120-53-6188  
 こどもの学びグループ TEL: 03-5877-8113 / FAX: 03-5877-8131 ホームページ www.poplar.co.jp

小学校中学年～一般 / 31×26cm / 192ページ/ハードカバー / N.D.C.457  
 定価:本体 5,800円(税別) ISBN978-4-591-17081-6

ポプラ社

# 最強、最大、最速…… 桁違いの個性をもつ恐竜たちを、大迫力のビジュアルで徹底解説。

人間が誕生するはるか昔の地球に生きた、恐竜をふくむ不思議な古代の生物たち。この本では、彼らのその驚くべき特徴にクローズアップ！ 科学考証に基づいたリアルなCGと簡潔な解説文で、恐竜たちのスゴイところを一気に味わえる1冊です。

臨場感溢れるビジュアルで恐竜たちの生態がわかる！

## ヘビー級の大吃漢 シャントウンゴサウルス

恐竜時代のオールスターを、1見開きごとにしっかり味わえる！ 恐竜ファンも、恐竜初心者も、だれでも楽しめる図鑑です。

**データ**

- 全長：約15m
- 食性：植物食
- 生息時期：7800万～7400万年前
- 生息環境：ひらけた平野

大きさが一目でわかる！ 生物の大きさや生息時期などの基本情報。人間と比べてときの大きさをイラストでわかります。

とても体が重いシャントウンゴサウルスは、鳥脚類というハドロサウルス科の植物食恐竜のグループで、最も体の大きな恐竜だ。幅が広くちばしのような口、歯が1500本以上もある強いあごのおかげで、かなりかたい植物もかみくだいて消化し、この大きな体のエネルギーに変えられた。白亜紀の中国にすみ、群れて平原や湿地を移動したと考えられている。この大食らいの恐竜の群れが通った後は、生いっけった植物がすっかり食べつくされていたことだろう。

シャントウンゴサウルスやエドモントサウルス(p88)と同じハドロサウルス科の恐竜は、2004年に兵庫県淡路島で見つかったカムイサウルスや2003年に北海道で見つかったカムイサウルスなど、日本でも化石が見つっている。

あごには、植物をすりつぶす役目の歯が1500本以上ひっそりと並んでいる。

**化石から見えること**

中国の探検地で、シャントウンゴサウルスの骨の化石が3000個以上、55体分発見された。この群れの化石にはほかの生き物に食べられたあととはなかつたことから、大きな洪水に巻きこまれ、その場で死んでしまったと考えられる。

**体重**  
シャントウンゴサウルスのおとなの骨をとおももの重さには、まれに重さが10トンに達したものがみられた。しかし、ここまで大きくつづいたものはめずらしい。

**足ももの長さ**  
シャントウンゴサウルスの前足でいちばん長い骨は、長さ1.7mにもなる最大足ももの骨だった。

**数で圧倒する**  
シャントウンゴサウルスは群れて移動して、危険な捕食者たちから身を守っていたのだらう。この地域には、大きなティラノサウルス科の恐竜であるスゲンティラヌスなどのハンターもいたが、これほど大きな恐竜が集まって歩くのはめずらしい。

注目ポイントがアイコンでわかる！ 化石研究から判明したそれぞれの生物の興味深い特徴を、アイコンを使って分かりやすく紹介しています。

▲鳥脚類最大といわれるシャントウンゴサウルス。特徴的な口まわりや群れてくらすようすなど、その生態がいきいきと伝わる。

地球上最強のかむ力

化石から見えること

**データ**

- 全長：約12m
- 食性：肉食
- 生息時期：6700万～6600万年前
- 生息環境：森林、草原の縁

骨ごとかみくだく最強のあご  
ティラノサウルス

巨大なあごの歯をもつティラノサウルスは、陸上動物史上最強のかむ力をもっていた。また、それほどの力がかかってもたえらるよう、ほかの動物より大きくかみくだく力をもった。口の筋肉はものをかむと縮んで歯がはきかかるとなっていて、大きな歯の中で自在に動かすことができた。このため、ティラノサウルスはあごで強い力をもつかみつき、鋭い歯をその内側にこめさせることができたのだらう。

▲ティラノサウルスの最強のあごにクローズアップした、大迫力のイラスト。

化石研究の最新技術がわかる！

**なぞをとき明かすCTスキャナー**  
マジュンガサウルスの頭骨のスキャン

CTスキャナーで生成した3D画像。大昔の生物を調べ尽くす研究技術を手厚く解説。

恐竜たちのスゴイところを一言で伝えるキャッチ

最大の鳥脚類

※紙面の内容は変更になることがあります。